

令和7年度 第4回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和7年7月16日（水）午前10時30分～正午

■場 所：府中駅北第2庁舎3階小会議室

■出 席：（敬称略）

（委 員）（5名）石川 伊智郎、浅田 多津子、藤間 利明、室 英治、
竹嶋 仁

（事務局）（3名）田口 敦、熊谷 一茂、青木 大地

■欠 席：（敬称略）

（委 員）（2名）塚原 仁、杉村 康之、西尾 克人

（事務局）（1名）柳下 豊宏

■議 事

1. 報告

① 令和7年度 第3回検討調整会議事録・・・

（浅田委員）2. 議事の内容に関して、以下の3点が指摘された。

- ・他部署の負担減に関する記述が、委員の意見として誤って記載されている。
⇒事務局による意見として修正する。今後は発言者も記載することとした。
- ・センター設立に関して、市民協働の考え方に基づいて進めるという文言が抜けている。⇒追記する。
- ・「委託先の事業者都合のセンター」ではなく「委託先の事業者にとって都合の良いセンター」ではないか。意味が変わってしまっている。⇒修正する。
- ・その他の内容について了承。

② 活動センター事業について・・・

（事務局：青木）夏休み親子かんきょう塾バス見学については、8月1日号広報ふちゅうにて募集を開始し、併せてLINE およびメール配信を活用して周知を行う予定。申込締切は8月8日とし、申込多数の場合には抽選にて参加者を決定する。当日の夏狩湧水群の案内は事務局が担当する予定。

かんきょう塾の開催状況について、第1回（6月29日開催）では35名が参加し、前年度第1回の約2倍の参加者数となった。第2回（7月19日開催予定）については、申込締切日時点で新規申込者が2名、欠席予定者が4名である。猛暑が予想されるため、熱中症対策としてフィールドワークの時間を短縮し、座学中心の内容に変更する予定である。第3回（8月9日開催予定）の講座については、「世界と日本のゴミ問題の現状や違い～JICA 海外協力隊・環境教育（スリランカ）隊員と一緒に考える～」というタイトルで実施することが決定している。

自然・環境体験学習（7月6日開催）には12家族が参加し、東京農工大

学の学生サークルの協力を得て実施した。今後のイベント予定としては、10月5日に環境まつりにてセンターのPRを行う予定である。また、11月29日・30日には市民協働まつりにてパネル展示を実施する計画である。さらに、第7回かんきょう塾については資源循環推進課と調整のうえ、12月14日（日）に開催する方向で仮決定している。

- ③ その他・・・
特に無し。

2. 議事

① 活動センターの運営方法について・・・

事務局：熊谷より、「環境保全活動センター独立化プロジェクト計画シート（案）」について説明あり。独立化に向けた方針のすり合わせを行っていくこととなった。今後の運営方法に対して、委員・事務局より以下のとおり意見がなされた。

- ・（浅田委員）センター独立化に向けて、検討調整会のメンバーだけで決めてよいのか。色々な団体と練っていくべきではないか。市民協働で進めていくためには、市民の意見を聴く機会を設けてはどうか。
- ・（室委員）確かに検討調整会のみで決めるべきではないと思う。市から市民・団体へ呼びかけてもらえないか。
- ・（事務局：熊谷）今の段階で呼びかけても、意見をまとめるのは困難であると思う。まずは検討調整会で案をまとめてから、提案するのはどうか。第1回かんきょう塾にてパネラーから話があったが、市民協働を進めるうえでは、市民にとって「楽しめる活動」をどう作り上げていくかも課題である。
- ・（室委員）今回、計画シート案が完成したため、他団体（府中かんきょう市民の会やかんきょう塾ネット等）でも議論したほうがよいのではないか。
- ・（藤間委員）まずは、センターの役割の範囲を決めたほうがよいのではないか。運営規則第3条に示されている6項目を網羅するとなると、物理的にも相当なスペースが必要となる。センターとしてどここの範囲をカバーするか決めるのが優先であると思う。
- ・（室委員）これまでのセンター独立化に向けた経緯を復習すべきでは。
- ・（石川委員）センター独立化は、かなりスケールの大きい話である。センターのカバーする範囲を広げるとなると、メリット・デメリットも良く考える必要あり。八王子市や日野市など、他市と比較しても、予算的に現実的なのか。まずは、何を一番初めにやらなければならないのかを考える必

要がある。

- ・（竹嶋委員）スケジュール感はとても大切。何も目途が立っていない中で、市民へ意見を求めても、とりとめがつかず、意見をまとめるのも大変である。まずは案を作成して、各団体の意見を聴くのが良いと思う。方向性づくりが大切である。
- ・（藤間委員）センターの運営規則を確認したところ、6項目中1つしか達成されていない。センターにとってのターゲットを絞り、どの項目に特化するかを決めたほうが良い。
- ・（浅田委員）府中市の環境基本条例にセンターのことは明記されているのか。⇒条例にセンターという名称は明記されていないものの、センターの機能や中身について示されている。
- ・（浅田委員）センター独立化を考えるうえで、有識者にヒアリングを行えないだろうか。
- ・（事務局：熊谷）様々な手段があるため、有識者や関係者へヒアリングを行い、情報を集約していききたい。ヒアリングの結果をもとに事務局から提案していくが、是非各委員からの提案もいただきたい。
- ・（浅田委員）情報の偏りを防ぐためにも、市に全てを任せることは適切でないと思う。検討調整会の委員としても動き考える必要がある。
- ・（室委員）賛成である。有識者へのヒアリングは事務局中心で動いてもらい、検討調整会の委員もそれに同席する形で調整していききたい。今回事務局の作成した計画シート（案）を各自確認してもらい、次回検討調整会にて意見をもらいたい。

② その他

（藤間委員）第6回かんきょう塾（11月8日開催予定）の下見を行った。下見のメンバーは山本さん含め計5名。当日案内するルートを確認するため、2時間近く市内を歩いた。当日の予定として、9：30に大國魂神社に集合して、解散場所は片町文化センターを検討中。参加者へ配布する資料や必要な備品については、事務局へ改めて連絡する。

⇒後日、片町文化センターが使用できないと判明。午前9時30分に「分倍河原駅南口 新田義貞公像の南側」集合へ変更となった。屋外活動後のグループ活動場所及び雨天時用会場として、第2庁舎6階会議室を使用予定。

4. その他（次回検討調整会について）・・・

次回開催は令和7年8月19日（火）午後2時～決定。開催場所については、後日青木から委員へメールでお知らせすることとなった。

※第6回検討調整会についても、9月16日（火）14：00で仮決定。